

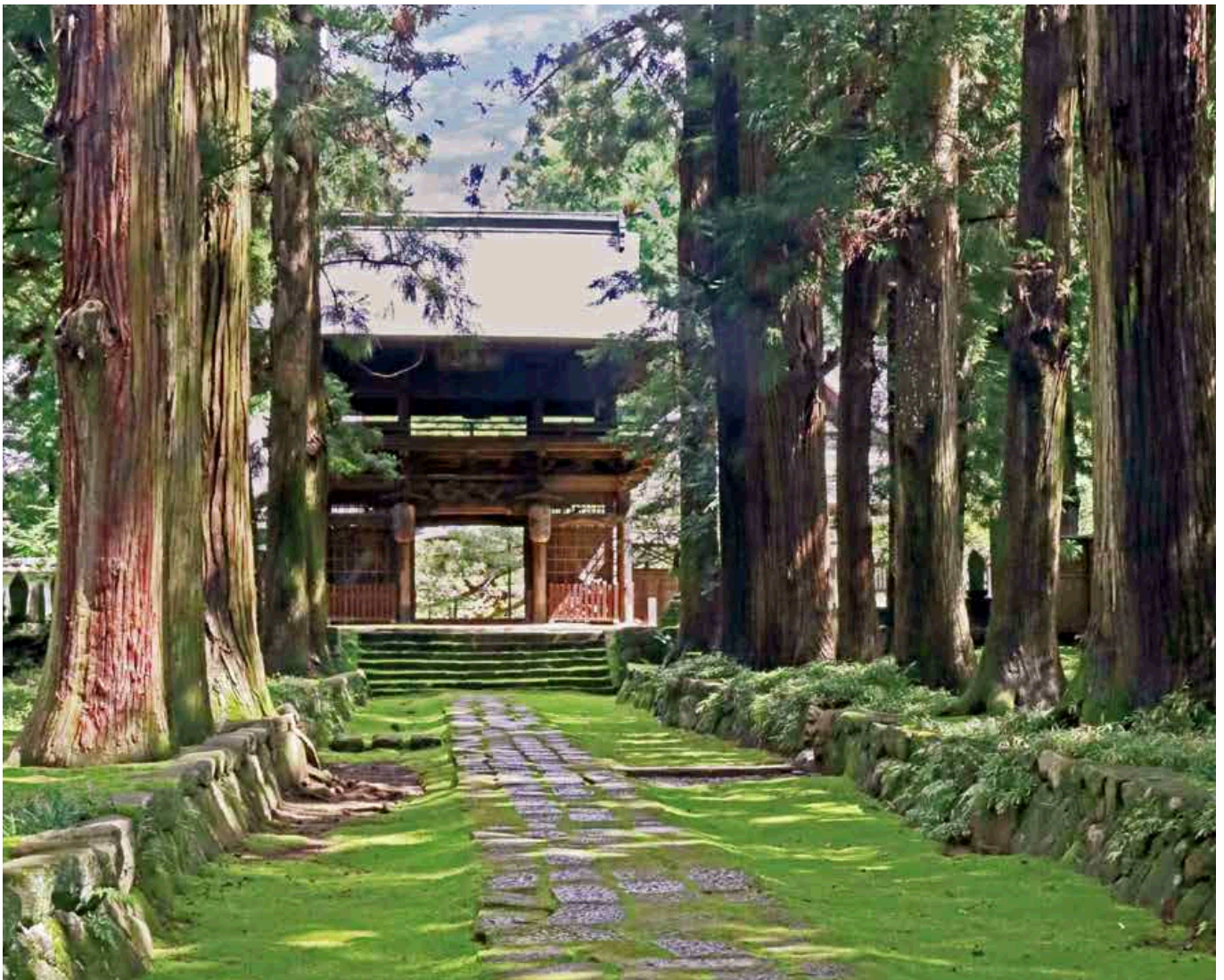
＼ こんにちは ／
しもすわまちぎかい
／ です ＼

vol.36
6月定例会

♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

議会の更なる改革に向け……………14P

令和4年7月22日発行



下諏訪町議会
HPはこちら



今月の表紙：私の好きな下諏訪「青こけの参道」
(撮影：林 常雄さん)

表紙写真 募集中!

一目でわかる議決結果

6月定例会

| 議案名(一部省略) | | |
|-----------|--|---------------|
| 承認 | 【専決処分】令和3年度一般会計補正予算(第14号) | →詳しくは7ページ⑩へ |
| 承認 | 【専決処分】令和3年度交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号) | |
| 承認 | 【専決処分】令和3年度温泉事業特別会計補正予算(第2号) | |
| 承認 | 【専決処分】令和3年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第4号) | |
| 承認 | 【専決処分】税条例等の一部改正 | |
| 承認 | 【専決処分】都市計画税条例の一部改正 | |
| 承認 | 【専決処分】国民健康保険税条例の一部改正 | |
| 可決 | 消防ポンプ自動車の購入 | →詳しくは5ページ①へ |
| 可決 | 電子黒板の購入 | →詳しくは5ページ②へ |
| 可決 | 食器食缶洗浄機等の購入 | →詳しくは5ページ③へ |
| 可決 | ナックルフォア艇の購入 | →詳しくは5ページ④へ |
| 可決 | 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 | →詳しくは7ページ⑪へ |
| 可決 | 奨学金条例の一部改正 | →詳しくは7ページ⑫へ |
| 可決 | 令和4年度一般会計補正予算(第2号) | →詳しくは6ページ⑤⑥⑦へ |
| 可決 | 令和4年度一般会計補正予算(第3号) | →詳しくは6ページ⑧⑨へ |
| 陳情名 | | |
| 採択 | 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情 | →詳しくは3ページへ |
| 採択 | さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情 | |
| 不採択 | 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情 | |
| 採択 | 諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情 | →詳しくは4ページへ |
| 不採択 | 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情 | |
| 意見書案名 | | |
| 可決 | 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書 | →詳しくは3ページへ |
| 可決 | さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める意見書 | |
| 可決 | 諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める意見書 | →詳しくは4ページへ |
| 否決 | へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書 | |
| 否決 | 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に求める意見書 | |

6月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

| 議員名(議席順) | 議決等結果 | 森安夫 | 樽川信仁 | 田嶋彰 | 増沢昌明 | 林元夫 | 岩村清司 | 青木利子 | 大橋和子 | 松井節夫 | 中山透 | 野沢弘子 | 中村光良 | 金井敬子 |
|--|-------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| 議案名等(省略) | | | | | | | | | | | | | | |
| 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情 | 不採択 | 斜線 | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ |
| 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情 | 不採択 | 斜線 | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ |
| へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書 | 否決 | 斜線 | × | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ |
| 消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に求める意見書 | 否決 | 斜線 | × | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ |

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

陳情・意見書案の審査結果

陳情第5号

陳情者 長野県教職員組合諏訪支部

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

全会一致で採択

義務教育費国庫負担制度はH18年度の「三位一体改革」の中で、国庫負担率が1/2から1/3に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的配置を行う自治体もありますが、

自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが、全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることを要望するものです。



陳情採択を受け

意見書案第2号

生活文教常任委員会提案

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

国へ 全会一致で可決

陳情第6号

陳情者 長野県教職員組合諏訪支部

さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情

全会一致で採択

新年度以降も、コロナ禍において学校現場では学びの保障や心のケア、感染症対策など不断の努力を続けています。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するために、早急に国の制度としての30

人学級を実現するなど、さらなる少人数学級推進と抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数の改善を要望するものです。



陳情採択を受け

意見書案第3号

生活文教常任委員会提案

さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

国へ 全会一致で可決

陳情第7号

陳情者 長野県教職員組合諏訪支部

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情

賛成少数で不採択

県は、「へき地教育振興法」に基づきへき地校の特殊事情を考慮し、手当等の月額を文部科学省令で定める額に準じて定めることとされています。近隣県はその率に準じて支給されていますが、長野県はH18年度より大幅に減額。へき地学校等を取り巻く生活環境・交通事情等は改善されていますが、依然としてへき地校に勤務する教職員は生活物資等の購入や医療機関受診等に困難を抱え、さらに原油の高騰は経済的負担を増大させています。

教職員の人材確保、児童生徒の教育の機会均等、教育条件整備の観点から、へき地手当率の水準を

近隣県並みに戻すことを県に求める内容です。

賛成討論 「へき地に勤務する教職員の負担は大。へき地校の教員確保の点からも、近隣県並みへの引き上げは当然必要」

反対討論 「当町には該当するへき地校は無い。H18年度の改正は、職員団体との合意の上であったし、県はへき地教育振興について認識し教職員のモチベーションが下がらないよう考えていくとの事であり、そのことに大いに期待している」

採決の結果、賛成少数で、不採択。

陳情第9号

陳情者 諏訪湖漁業協同組合

諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情

全会一致で採択

近年、諏訪湖ではワカサギやエビなどの漁獲量が激減し、鯉・鮒・もろこ等の姿も見えない。また、ワカサギの遡上も激減している。県、圏域自治体、漁協でも、流入河川の水質改善やヒシ除去、魚介類の放流などに取り組んでいるが、調査研究および魚介類の生存繁殖への対応は不十分である。

よって、諏訪広域連合に対し、①漁獲量激減対

策と流入河川の更なる環境改善を、諏訪圏域6市町村の共通課題として、早急に調査研究し対策を講じること②諏訪広域連合で「広域的課題の調査研究に関する事務」として取り上げ、調査研究事務を推進すること③その結果を国・県に強力に提言・要望することの3点を求める内容です。



陳情採択を受け

意見書案第4号

生活文教常任委員会提案

諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める意見書

諏訪広域連合へ 全会一致で可決

陳情第10号

陳情者 諏訪地方民主商工会

消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に対する意見書の提出を求める陳情

賛成少数で不採択

来年10月から開始される消費税の適格請求書等保存方式(略称インボイス)をめぐる、年間売上1,000万円未満の零細事業者、農家、一人親方、フリーランス、内職者、シルバー人材センターなど広範な人々が、インボイスを発行しようとするれば消費税の申告納付を選択せざるを得なく、「消費税を申告してまで仕事を続けられない」「仕事が引き続きもらえるか」など、重大な岐路に立たされています。この事態に対して、日本税理士会をはじめとする団体が、制度の周知が不足していることから生じる社会的混乱を危惧しています。

加えて、コロナ禍等による消費低下、円安・輸入

価格高騰・資材不足等の経済危機が進行しているため、インボイス制度の延期を政府に求める内容です。

賛成討論「制度の内容を知った方々からは疑問や不安の声が多く、多くの団体が延期や中止を求めている」

反対討論「多くの事業者にとって、メリットがある。制度開始後6年間は、経過措置もとられる」「消費税は、社会保障の財源として重要。その確保のためには、大切な制度」

採決の結果、賛成少数で、不採択。

意見書案第5号

* 陳情第7号の願意に沿って

提案者：金井

賛成者：増沢 松井

へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書

県へ 賛成少数で否決

意見書案第6号

* 陳情第10号の願意に沿って

提案者：松井

賛成者：増沢 金井

消費税の事務に付加される適格請求書等保存方式(インボイス)の導入を延期するよう国に求める意見書

国へ 賛成少数で否決

議会初日の即日議決議案の審査報告

② 電子黒板の購入

中学校各教室に20台、小学校では来年度の本格導入に向け、各校へ2台を配置。65型ディスプレイ、キャスター付きで高さは約2m、エルモ社製で、信頼性があり導入実績も多い電子黒板(1,089万円)で、国から約42万円の補助を受けます。

今までの大型プロジェクターとは違い、現在、学校で使用しているタブレットとリンクさせて活用ができます。導入にあたり、教師へのレクチャーも行ってもらえ、機器の設置については、学校の夏休み期間中に行う予定です。

採決の結果、全会一致で可決しました。



① 消防ポンプ自動車の購入

第3分団四ツ角屯所に配備する4枚ドア6人乗り、4WD、オートマチックの中型車両(2,442万円)を購入。

環境に配慮した無給油式のポンプを採用しています。直近では2分団、7分団に同型車両(写真)が納車されています。

採決の結果、全会一致で可決しました。



④ ナックルフォア艇の購入

ナックルフォア艇が老朽化しているため、7艇購入(946万円)します。購入する艇は、サンドイッチ構造を採用しており、古いものに比べて軽量化されています。購入にあたって予定されていた、スポーツ振興くじの助成額が増え町の支出が減額されます。受注生産の為、納入までには半年かかります。

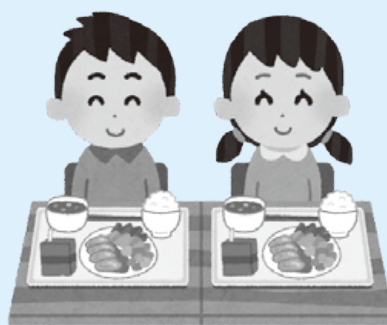
採決の結果、全会一致で可決しました。



③ 食器食缶洗浄機等の購入

下諏訪中学校の既存の機器は、S59年の購入で、老朽化したため更新します。今回の機器(880万円)は、給湯設備を野外に設置することによって、給食調理室内の温度もあまり上がらず、不完全燃焼の心配もなくなります。全額町の負担になりますが、操作性も良くなります。電子黒板と同様、夏休み期間に設置作業を行う予定。

採決の結果、全会一致で可決しました。



一般会計予算決算審査特別委員会審査報告

2つの今年度補正予算を審議のうえ、全会一致で可決

⑤ コロナ禍での御柱祭に 1300万円の追加補助

御柱祭山出しが車両による搬送となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら準備を進めていた木落し観覧席販売が中止されたことで、大幅な赤字が見込まれる御柱祭実行委員会への追加補助が計上されました。御柱祭実行委員会で会計を締めた際に余った分は、町への返還が考えられていること。また、観覧席用のお土産品については、在庫販売が継続されており今後売上の精算がされることなど説明されました。



有料観覧席用に準備された「幻の御柱祭お土産セット」

「過去に例のない特殊な状況下での御柱祭の開催であり、実行委員会では慎重な検討会議を重ねて

準備に努められた。里曳きのみ一般町民参加で行われたが、多くの人が伝統行事の開催や賑わいに胸を撫でおろす思いだったのではないかと。結果として、補正計上する事態に至ったことは、やむを得ないかと理解する。出費の最小化に尽力頂きたい「リスクマネージメントの点からは疑問が残るが、生じた赤字はやむを得ない。6年後は、これまでどおりの祭開催を期待して賛成」との討論がありました。

⑥ HPVワクチンの 任意接種費用助成金

ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）の予防接種（子宮頸がん予防ワクチン）は、今年度から積極的接種勧奨が再開されました。

積極的な勧奨を差し控えている間に子宮頸がん予防ワクチンを受けられる機会を逃してしまっただけが、無料で接種が受けられる機会を設けるとともに、既に自費で接種を受けた方へ接種費用の助成金を交付するため、47万円が計上されました。「町独自策として、充分なPRを」との討論がありました。



⑦ 寄附金の積み立てや活用

個人から賜った一般寄附金や、17件のふるさとまちづくり寄附金が、財政調整基金やふるさとまちづくり基金、こども未来基金に積み立てられました。

また、眼科屈折検査機器購入にと、母子衛生寄附金を賜りました。

⑧ プレミアム率引き上げの商品券 生活応援事業としての配布も

当初予算に計上されていた「プレミアム付き商品券」は、コロナ禍で疲弊した経済の活性化を図る狙いです。当初予定していた20%のプレミアム率を、10%上乘せし30%とし、1冊1万3000円分

の商品券を1万円販売。8月初旬からの利用開始が予定されています。

R2年度の商品券販売時は、購入希望が殺到し、追加発行する経過もあったことから、今回は町内在住者に限定し、郵便やネットで購入希望を受け付け、対面方式ではない販売方法をとります。購入上限冊数も前回より少なくする予定との事ですが、詳細は検討中。

併せて、この商品券を「生活応援」として、コロナ禍と物価高騰で困難を多く抱える住民税非課税世帯へは1冊ずつ、また18歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども一人当たり1冊ずつ、またひとり親等の世帯には上乘せし、簡易書留で送付します。

⑨ 小学校への電子黒板配備

来年度に予定されていた小学校への電子黒板配備を、前倒しで行うこととなり、北・南両校の普通教室と特別支援教室への配備33台分、1497万円が計上されました。

即日採決された中学校への配備と同等品を想定、年度内の納品が見込まれます。

議会だより

モニターのみ

☆一般質問の見出しの付け方が気になる。
「見出しと内容」「質問と回答」が一致していない。

広報特別委員会より

・内容が伝わりやすい見出しとなるよう、心がけていきます。

☆旧矢崎商店について全議員さんが真剣に考えて下さり、安心しました。

広報特別委員会より

・議会内での議論の経過を分かりやすくお伝えできるよう、今後も努力していきます。

☆表紙が明るい雰囲気だと良いかなと思う。

広報特別委員会より

・タイトルのデザインを変更してみました
が、いかがでしょうか？

読みやすい議会だよりへ!

今号から、「ユニバーサルデザインフォント (UDフォント)」を導入しました。

このフォントは、誰にとっても読みやすく、読み間違いがないようにデザインされた書体です。

できるだけ多くの方に読んでいただける議会だよりを目指してまいります!

～どちらが読みやすいですか?～

R 4 年

下 諏 訪

ぎ かい

明 朝 体

R 4 年

下 諏 訪

ぎ かい

UDフォント

議会初日の専決議案審査報告

⑩余剰金を基金に積立て

R3年度一般会計歳入歳出にそれぞれ5億3,716万円を追加して、予算総額を96億7,420万円にするものです。事業費の確定に伴い起債額(町の借入予定金額)と地方債(町の借入額)を変更。

歳入の増は、町民税の個人・法人の現年課税、たばこ税の増額分及び各種交付金の増額。

歳出では、R3年度の決算で見込まれる余剰金を、「公共施設整備基金」に2億1,300万円、「減債基金」に1億300万円、「地域開発整備基金」に3億円を積み立てます。

また、文化センター改修工事の実施設計料7,010万円に、基金及び起債を充当する予定でしたが、工事延期の為、起債対象外となり、すべて町の一般財源で賄う事になりました。

総務経済常任委員会審査報告

⑪下水道事業計画に将来人口を反映

現在の事業計画の将来人口の数値は、5年毎の国勢調査による、R2年度の人口推計を採用しています。今回の改正は、R15年度の人口予測の数値1万4,800人を採用し、今後の整備計画や収支計画に反映させます。

全会一致で可決しました。

生活文教常任委員会審査報告

⑫奨学基金の原資も活用

今までは、基金の預金利子を活用して奨学金の貸付を行っていましたが、一定の条件の下で返還免除を行っていることや利率低下により、預金利子だけの貸付事業に支障が出るのが予想されることから、奨学金の原資も活用できるようにする改正です。

この改正を行っても、7～8年で基金が枯渇してしまうことも試算され、奨学金制度の継続については、今後こども未来基金などの活用も含め検討していく方向です。

全会一致で可決しました。

いずみ湖テニスコートの
今後の活用は

流行に左右されない
施設を



町長 開設当時は町内外からの利用者が多かったが、

問 今後のテニスコートの活用の考えは。

建設水道課長 凍結、融解を繰り返しており、8面中2面は使用できない状況。

問 テニスコートの整備状況は。

建設水道課長 R1年は283人、R2年は134人、R3年は161人で、減少傾向。

問 過去3年間のテニスコートの利用状況は。

建設水道課長 R1年は283人、R2年は134人、R3年は161人で、減少傾向。

問 山や自然を活用した健康推進と、諏訪湖畔の健康ゾーンを結ぶまちづくりは。

町長 山と里を結ぶ道路整備が必要。大きな事業になるので、検討していく。

問 国の補助メニューを活用しての発電はどうか。

建設水道課長 町独自の検討では発電可能は4か所、高木3号井が有力であるが、リスクが大きく、民間活用による対応が望ましい。

問 国民保養温泉地への登録を考えないか。

町長 町内には4人の温泉療法士がいる。温泉を活用した観光化と基本的な考えは一緒だと思うので、研究・検討していきたい。



私たちは問いかけ提案する 一般質問



下諏訪町議会のホームページから、一般質問の詳細や録画画像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。



6月定例会の一般質問は
12人が行いました。

- 8 p 中山 透
「いずみ湖テニスコートの今後の活用は」
- 9 p 田嶋 彰
「お舟祭りの中止や規制の考えは」
中村 光良
「町民菜園活用で町の農業を元気に」
- 10 p 樽川 信仁
「昨年8月の豪雨災害の教訓は」
野沢 弘子
「小学校休校等助成金 延長の周知は」
- 11 p 増沢 昌明
「ロシアとウクライナの戦争をどう見るか」
岩村 清司
「期末における町の借金の総額は」
- 12 p 林 元夫
「国保基金増額による激変緩和措置を」
金井 敬子
「就学援助費支給項目の拡充を」
- 13 p 松井 節夫
「大久保沢復旧工事遅れの原因は」
大橋 和子
「タブレットを活用した教育等の相談は」
- 14 p 青木 利子
「女性課長2人目の登用の考えは」



町民菜園活用で
町の農業を元気に

関係機関と
協力していく

産業振興課長



お舟祭りの中止や規制の
考えは

感染防止を図りながら
準備

産業振興課長

問 朝市で、朝食・昼食向け食料品の販売はどうか。

朝市で、朝食・昼食向け食料品の販売はどうか。就農支援に努めたい。

問 定年退職者などを農業に誘導できないか。

産業振興課長 農地所有者と就農希望者のマッチングを図り、JA信州諏訪など関係機関と連携しながら、

問 町として、御柱祭後の観光の考えは。

産業振興課長 観光振興局

問 御柱祭後の観光は

お舟祭りの開催についての考え方は。町長 諏訪圏域の新型コロナウイルス感染症の動向により、規模縮小や中止を判断することになる。今後の動向に注視し感染防止対策を図りながら、規模縮小や変更を加えた形で、開催に向けた準備を行っていく。

問 コロナ禍では、保育園

学校などの見通しは

産業振興課長 朝市活性化は課題。検討が必要だ。

問 小宮祭を活用した観光体験プログラムは。

産業振興課長 いくつかの

問 新しい取り組みや施策は。

産業振興課長 観光推進部の観光推進部を中心に、「観光体験プログラム」の充実や情報発信の充実を図る。

問 今後の外国人観光客の受け入れは。

産業振興課長 国の方針を受け、観光事業者と協力・連携して対応していく。

問 今後の外国人観光客の受け入れは。

産業振興課長 国の方針を受け、観光事業者と協力・連携して対応していく。

問 新型コロナウイルス感

染症防止策は。

産業振興課長 観光庁のガイドラインを遵守して、観光関連事業者と連携して行っていく。

問 中学校生活は、小学校とは全く違う学習形態や、部活・生徒会のレベルが上がり、重要な3年間だ。今後の見通しはどうか。

教育長 音楽会や修学旅行等が、計画どおり行うことができれば嬉しい。

問 中学校生活は、小学校とは全く違う学習形態や、部活・生徒会のレベルが上がり、重要な3年間だ。今後の見通しはどうか。

教育長 修学旅行は、社中が関西方面で実施済み。下中は7月上旬に北陸方面へ行く。平常時に近い状況に切り替えており、文化祭や音楽祭も計画通りやりたい。



小学校休業等助成金
延長の周知は

小学校等へ
5回案内発信

教育こども課長



のざわ ひろこ
野沢 弘子

昨年8月の
豪雨災害の教訓は

何度でも
啓蒙する

町長



たろか のぶと
樽川 信仁

問 課題・反省点は。

総務課長 防災無線利用促進と、個人意識を高める啓蒙活動に力を入れる。

町屋敷最終処分場

問 数値が上昇している項目とは何か。

住民環境課長 ダイオキシンの詳細調査を行う。安心安全な土地回復を目指す。

問 R142号線沿いの不法投棄を食い止めるには。

住民環境課長 県と力を合わせ、パトロール強化やモ

問 図書館で書籍用消毒器設置が困難な理由は。

教育こども課長 効果や経費を総合的に勘案して。

低所得者・子育て支援

問 給食費の負担軽減の考えは。

町長 保護者に負担を求める考えはなく、値上げが必要となる状況になれば、補助金などで対応したい。

問 低所得者・子育て世帯への支援の考えは。

町長 住民税非課税世帯、

ラル向上に取り組む。

問 カラスによるごみ被害にどう対処するか。

住民環境課長 被害があった場所は、住民の意見を取り入れて、十分な対策を行いたい。5-11か所のごみ置き場の点検や、囲いをするなどで対処したい。

問 「チャレステムしむわ」の実績は。

産業振興課長 5月現在で27店舗の出店があり、出店者も利用者も、納得のいく状況である。

地方創生臨時交付金

問 プレミアム付商品券の発行について、上乗せは。

町長 国から、地方創生臨時交付金の追加配分が決まった。定例会最終日に補正予算で上乗せ拡充したい。

イオン出店について

問 イオン出店について、町で把握していることは。

一般質問

問 観光案内所や駅2階へ繋げたらどうか。

町長 玄関口として旅行者や利用者に十分喜んでいただけるところでありたいと考えている。

キッチンカーの状況

問 出店実績は。

建設水道課長 15日間出店で、売上実績があった。公園への出店は好評。

問 設備補助や融資は。産業振興課長 キッチンカーのものにはないが、融



待ち遠しい イオン予定地

教育こども課長 イオン新店舗内への子育て支援施設の開設を検討している。イオンとは逐次情報交換をしております、4月下旬に町長が

資制度の仕組みがあるので利用してほしい。

問 キッチンカーへの思いは。

町長 賑わい創出に心強い。



賑わいを創出する新しい仲間たち！

ら早期開店を再要望した。

問 マイナンバーカードのポイント付与拡充が6月30日から始まる。交付率増に向けた工夫・対策は。

住民環境課長 県知事選挙の期日前投票期間に合わせ、夜間申請窓口を総合文化センターに設ける予定。

問 HPVワクチン接種への支援強化は。

保健福祉課長 対象年齢を超えて自費で接種を受けた人への助成費用として、補正予算を計上する。



期末における町の借金の総額は

99億9,162万円である

総務課長



ロシアとウクライナの戦争をどう見るか

ロシアの侵略は許されない

町長

問 期末における町の借金の総額は。

町長 直接結びつくことではないと思うが、国の財政が大変厳しい状況になれば、どんな形で現れるか分からないが地方にいわせがくと想像がつく。

問 国の借金は1241兆円、国民一人当たりの借金は1011万円、国の債務超過も最悪で20年度末にて655兆円とある。国の借金との関連をどう考えるか。

町長 国際法に基づき対話による平和的外交が一番望



平和都市宣言

問 戦争防止のために国連憲章では外交を義務づけているが。

問 期末における町の借金の総額は。

総務課長 町内の金融機関等へ事業ごと貸付金利の見積依頼をし、最低金利を提示した金融機関から借り入

総務課長 R3年度末の一般会計の起債残高は99億9162万円。R7年度まで増加し、その後は減少の見込み。

問 文科省の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策に

町長 物価高騰による厳しい状況は承知している。保護者への負担増を求める考えはない。

問 給食費の質を落とさず、保護者の給食費負担軽減を。教育こども課長 保護者の負担の範囲内でメニューを考えてきたが、かなりの工夫が求められている。

学校給食の負担軽減を。町長 国からの「要請」ではなく、「こういふことでもできる」ということだと捉えている。

問 砂時計制作授業をどう考えるか。

教育長 昨年度、南・北小学生1年生から6年生全員対象で行われた。海が身近にない下諏訪町の子ども達にとって、目の前に海を感じられるような良い取り組みをしていただいた。愛知県南知多町の内海海岸のサラサラな砂、いろいろな種類の貝殻・流木などの生き

問 タブレット使用によりタブレットの机上よりの落下トラブルや机上の煩雑さ等を聞くが現状はどうか。教育こども課長 天板で対応している学校や、先生のをしている。

問 観光ガイドの今後は。産業振興課長 現在17名。依頼が集中する時があるが、おおむね対応している。観光ガイドの高齢化によるガイドの増員、後継者育成のため、6月〜7月観光ガイドを募集中である。

ガイド依頼への対応は。問 観光ガイドの今後は。産業振興課長 現在17名。依頼が集中する時があるが、おおむね対応している。観光ガイドの高齢化によるガイドの増員、後継者育成のため、6月〜7月観光ガイドを募集中である。

機間巡視に支障が生じないように余計な物はしまっ等の工夫をしていると聞く。落下トラブルより移動中の落下が多いのが実情である。



完成した砂時計

た教材を使って作った世界に一つしかない砂時計は、宝物になったと思う。

就学援助費支給項目の
拡充を

町独自の支援策で
対応済み



町長



かない 敬子
金井 敬子

問 コロナ禍における雇用喪失や所得の減少に、物価高騰も加わり、今やすべての世代で家計が「火の車」。子育て世代の経済状況の指標となる、就学援助費や奨学金の利用状況は。
教育こども課長 就学援助費支給はR1年137件、R2年145件、R3年150件。貸付型奨学金はR1年4人、R2年6人、R3年8人、R4年5月末までに5人。給付型奨学金はR1年9人、R2年16人、

R3年17人が利用。
問 国が就学援助費支給対象としているのは14項目。このうち、当町では非対象のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費を、加える考えはないか。
教育こども課長 クラブ活動費は「こども未来基金」で、オンライン学習通信費は一般会計で支援している。残る3項目を対象としている自治体は、まだ少ない。
町長 各校で差のあるもの

問 出水期を控える今、防
トイレ・食料備蓄など
子ども医療費窓口負担
問 子育て世代への支援として、無料化できないか。
町長 当町では、他市町村で実施していない入院時の食事代を助成している。窓口無料化の実施は難しい。



昨年5月から改定された「避難指示」

災に関わる啓蒙を更。
総務課長 広報・周知は重要。各種広報や機会を通じて、丁寧に説明していく。

国保基金増額による
激変緩和措置を

法定外繰入で
増額はしない



町長



はやし 元実

問 下諏訪町における国保加入率と軽減措置を受けている世帯の数、及び国保制度の基本的考え方は。
住民環境課長 町民の28.8%が加入。軽減措置を受けている世帯は58%。県により運営されるようになり、県の方針に従う。
問 税率統一の県のロードマップに沿うため、保険税率改定のプロセスをどう考えるか。値上げ幅は。
住民環境課長 試算中で、確定していない。

町長 いろいろ考慮して決める。
問 財政調整基金を増額して、激変緩和措置をすべきだと思ふが。
町長 法定外繰り入れをしてまで基金を増額するつもりはなく、激変緩和措置は考えていない。
御柱祭の問題点は
問 街の飾り付けを統一したかどうか。
産業振興課長 今回は統一するよう申し送る。

問 安全面でのリスクマネジメントは徹底できたとの評価がある半面、財政的なリスクマネジメントはどうであったか。
問 安全面でのリスクマネジメントは徹底できたとの評価がある半面、財政的なリスクマネジメントはどうであったか。
問 安全面でのリスクマネジメントは徹底できたとの評価がある半面、財政的なリスクマネジメントはどうであったか。



みんなで楽しんだ御柱祭

町長 前例のない感染症のリスクにその都度対応。財政的リスクにおいても適正に進めた。
太陽発電も施設改修に
問 太陽光発電など公共施設整備における技術的改修も視野に入れ、安全性優先など公共施設等個別施設計画の大きな変更も必要では。
総務課長 行財政経営プランの変更に伴い適時変更していく。



タブレットを活用した 教育等の相談は

対面相談を重視



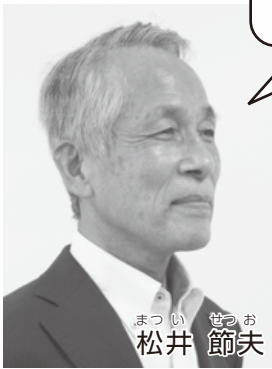
教育長

問 家族のタブレット利用も視野に入れ、生徒や家族の悩み等を聞いてもらう相談窓口としての活用は。

教育長 生徒や家族は月に3〜4回スクールカウンセラーとの相談ができる。対面、表情、態度を見て信頼関係を築いて相談している。

問 タブレット等の機械生活から離れ、文字文化を持たせ、「心の豊かさや感受性を高める」のはいかがか。

教育長 タブレットは道具の一つ。良いことと思う。



大久保沢復旧工事 遅れの原因は

地質が悪く
工法変更した



町長

問 注連掛橋下流の工事の内容は。

建設水道課長 8月豪雨災害の復旧工事で、国道に影響はない。

問 東町上落合地積の砥川護岸石積みが一部欠けており、崩壊する危険がある。

建設水道課長 諏訪建設事務所も承知して経過観察している。砥川に限らず優先順位を付けて改修している。

問 湖畔の溢水対策で事前放流や流量調整できないか。

町長 諏訪、岡谷と一緒に

問 ウイルス感染症対策の中でのオンラインワン政策は。

産業振興課長 観光体験プログラムを具現化し、本物、唯一、ここだけの特別感に繋げる。

問 日本舞踊教室、盆踊り、相撲体験、カヤック体験、廃校利用のグランピングは。

産業振興課長 日本でしか

インバウンド事業

自分の文字が基本。文字の良さを知り、感性豊かにすることが大切。

問 北小校門等にラバーポールが設置されたが、よ

問 北小校門前に設置されたラバーポール

通学路の安全対策を

県や国に要請している。



北小校門前に設置されたラバーポール

問 一人住まいの高齢者や障害者、要支援者の避難方法と改善は。

保健福祉課長 一、個別避難計画」の作成と小さなコミュニティでの避難訓練を予定している。

問 救護用ターポリン担架は地区に備えがあるか。

総務課長 消防団では活用。地区防災会での購入は無し。町の自主防災組織活動事業補助金の活用を。

きないか。

建設水道課長 ラバーポールは安価で抑止力がある。医王渡橋から7分団屯所までゾーン30になっている。

問 武居地区の向陽高校駐輪場に照明灯が必要だ。

教育子ども課長 私有地である。生徒からの要望はないが、学校へは伝える。

問 通学路の防犯灯が少なく、暗いところがあるが。

消防課長 武居地区関係者で協議し52か所設置している。携行ライトなどで自己



緊急時用のターポリン担架

問 防犯灯設置や電気代を町が負担できないか。

消防課長 設置には補助を

持続可能な里山整備を

問 森林整備と耕作放棄地の復元が必要と考えるが。

産業振興課長 耕作放棄地は道路不備や担い手不足、鳥獣被害で復元は難しい。SDGsの視点から多面的な機能を生かす森林整備は必要。

問 各指定避難所のトイレは洋式化しているか。

総務課長 町の施設では計画的に整備、一部和式も残す。公会所は、整備事業補助金活用で洋式化もできる。

議会の 更なる改革に向けて

議員の提案で「議会改革のための議員間討議」を4月からスタートしました。全議員で、全員協議会などの時間を活用して実施しています。

5月までに、議会基本条例と議員活動の実態との乖離点など課題を拾い上げ、次の対応を行うこととしました。

- ① 昨年9月から設置した「一般会計予算決算審査特別委員会」の総括
- ② 大規模災害発生時の行動マニュアルの見直し
- ③ 勉強会（議員間討議等）の機会を増やす

また、各議員から現状の議会・議員の課題として、次の意見が挙げられました。

- ① 議員のなり手不足・無投票
- ② 議員間で学習や討論する場の少なさ
- ③ 議員の資質向上
- ④ 政策提言のための学習や体制
- ⑤ コロナ禍での住民との対話の不足

今後は、特に意見の多かった「議員のなり手不足や無投票」について、引き続き全議員で深掘りし、長和町議会との意見交換の場を設ける予定です。また、各委員会等でも個別に検討を重ねていきます。

女性課長2人目の 登用の考えは

従来通り
能力に応じた人材を登用



問 内閣府は「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日であるH11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な啓発活動を推進。そこで、私は毎年6月議会に男女共同参画週間の質問をしている。今年の標語とポスターは。

総務課長 今年度の標語は『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』。ポスターは庁舎玄関と図書館

問 R4年度の町独自の事業は。

総務課長 過去のポスターも並べ、過去の経歴を振り返り



図書館での展示

に掲示している。

返るきっかけに。コロナの状況をみながら、秋頃を目途に県との共催で男女共同参画セミナーを開催予定。

問 現在、女性課長は1人だが、2人目の登用は。

町長 男女の区別なく、能力に応じた人材の登用が基本的考え。多様性を持った組織にするためには必要。

DX推進室の状況は

問 デジタル技術やデータを駆使したサービスを住民にどう提供するのか。

総務課長 住民へのサービス向上や行政業務の利便性や効率化を目指す。実際にはマイナンバーカードやオンライン手続きの推進。

町長 私の本年度の重点政策で推進するが、課題もある。一番は人材育成。外部からの導入もあるが、経費面や全国的にも人的不足。研修で育てて、どの部署にも人材がいることが必須。また、働き方改革にも繋がり利点もある。副町長をトップにDX体制を進める。

議会揭示板

議会が行った活動をお伝えします。

総務経済常任委員会

子どもたちも安全に（4月5日）



医王渡橋下流右岸・砥川河口左岸の転落防護柵と、諏訪湖周サイクリングロードの進捗状況を視察しました。

サイクリングロードは、サイドの樹木が伐採され見通しよく綺麗に整備されています。岡谷市、諏訪市、下諏訪町の共同事業で行われるサイクリングロードの下諏訪町分は、R5年度で完成予定です。

広報特別委員会

手にとってもらえる広報誌に！（4月18日）

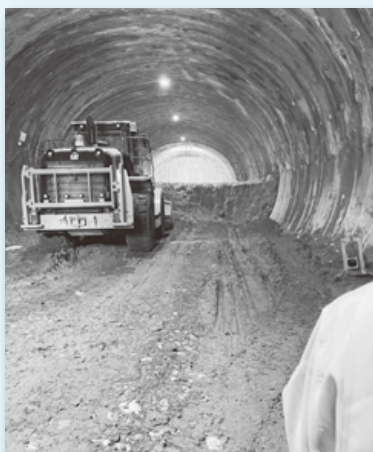
広報特別委員会では、全国町村議会議長会議会広報誌のアドバイザー6名（午前3名、午後3名）の動画視聴による研修を行いました。手に取ってもらえる、見てもらえる広報をどのように作っていくのかを勉強しました。

表紙には町民のみなさんが関心のあるもの、見てもらうためにはわかりやすい言葉で簡単明瞭に記載することなど、初心に戻るきっかけをもらいました。



パイパス対策特別委員会

ICT化された工事現場に驚き!!（5月10日）



（仮）山田トンネル工事現場と、池の塔マレットゴルフ場上の土砂置き場の予定地を視察しました。

トンネル工事は昨年10月から岡谷側から本体工事に着手しており本年5月末現在で約120M程度掘り進んでいます。現状は大きな問題もなく順調に進んでいます。作業現場の安全・環境対策、採掘残土の運搬、地域への騒音対策など作業内容はまさに異次元の世界を見ているような驚きでした。

特別委員会としても今後も引き続き町民の声を聴きながら対応してまいります。

好きです しもすわ

「先人の思いを繋ぐ御柱祭」



下諏訪町区長会長

有賀 守

令和四年壬寅年の御柱祭は変則ではありませんでしたが、無事終えることができました。山出しではトレーラーでの運搬となりましたが、秋一担当の私

たちは、元綱を付け、山の神様をお迎えし、綱渡りの神事を行うことにこだわり準備を進めました。神様を蔑ろにしたお祭りであってはならないと私たちは考えたからです。

先人の人たちも、同じように山に入る前には斧立社(ヨキタテシヤ)に安全を祈願し、帰るときは無事を感じていたのでないかと思えます。また、故高木十吉氏石碑においても、昭和19年という戦時下、人手が少なく子どもたちも動員された山出しだったと聞きます。その人たちを鼓舞するために先導した折の事故だったのではないのでしょうか。昔の人たちは、その時々の中で御柱祭に思いを込めて千二百年受け継いできました。私たちもこのような思いを次の世代に絶えることなく繋いでいく使命があると強く思います。

編集後記

久しぶりに編集後記担当になり過去を振り返りました。

「議会だより」の第1号の発行はH19年2月1日です。第1号では議会だより発行そのものに賛否両論があり、発行までに時間がかかりました。第1回の編集会議も全員で関わる等の意見が出て、全員での編集委員会になり、当時委員長だったこともあり、その

の様子がいずれ出されました。さらに、議会だより発行を期に、H26年に議会基本条例が制定されました。今回、HPで第2号から第35号を読み返し、その時その時の時代が蘇りました。(青木)

広報特別委員会

委員長 金井敬子

副委員長 中山 透

委員 樽川信仁

委員 増沢昌明

委員 青木利子

委員 大橋和子

うと思える環境改革が必要です。

今任期中に条例の改正や制定は時間的に無理がありますが、議会の課題検討会の中で将来に向け議員間の合意ができればと考えております。

さらにここ2年はコロナ禍の弊害で、議員間交流、住民の皆様との懇談会、行政視察が滞り、必要な情報や知識を得られない状況でした。今後は十分な研修の場を復活させ、議員の資質向上を図らなければなりません。議員の資質向上こそが一番の議会改革だと考えています。

議長のつぶやき

「大切なことは議員の資質向上」



議長 森 安夫

14ページに掲載のとおり、議員間で「議会の課題検討会」を行っています。先輩議員の御努力で、議会改革への取り組みは他町村に比べ遜色ないとは考えています。時代や環境が変化の中で改善・改革は常に進めないと、取り残されてしまいます。

地方議会の議会改革とは、住民の皆様にも「議会のしくみ・活動・働き」を知っていただき、身近な行政の活動に関心が持て、住民参加のまちづくりができるような取組です。すなわち、住民の皆様を議会が共有し、行政に活かすことです。

残念ながら、議会の最大の課題は住民の皆様「議会不信」を払拭出来ないことです。「議会は何をやっているかわからない

い」とか、「自分たちの代表とは思えず、政策決定に住民の意見を十分に反映できていない」など、住民からあまり信頼されていないようです。「議会基本条例の制定」「議会だよりの発行」「議会報告会や懇談会の実施」「議事録や一般質問のホームページでの公開」など取り組んでまいりましたが、議会側からの一方的な伝達に過ぎなかったのではないかと思います。前述のとおり、少子高齢化、人口減少社会、ジェンダーレス社会など変化や多様性が求められるにも関わらず、住民の皆様を共有し、政策に活かせていないことです。

もう一つの大きな課題は、議員のなり手不足です。若い人や女性も議員をやる